
富山県における介護ロボットに関する取組みについて

令和5年6月2日（金）
富山県厚生部高齢福祉課

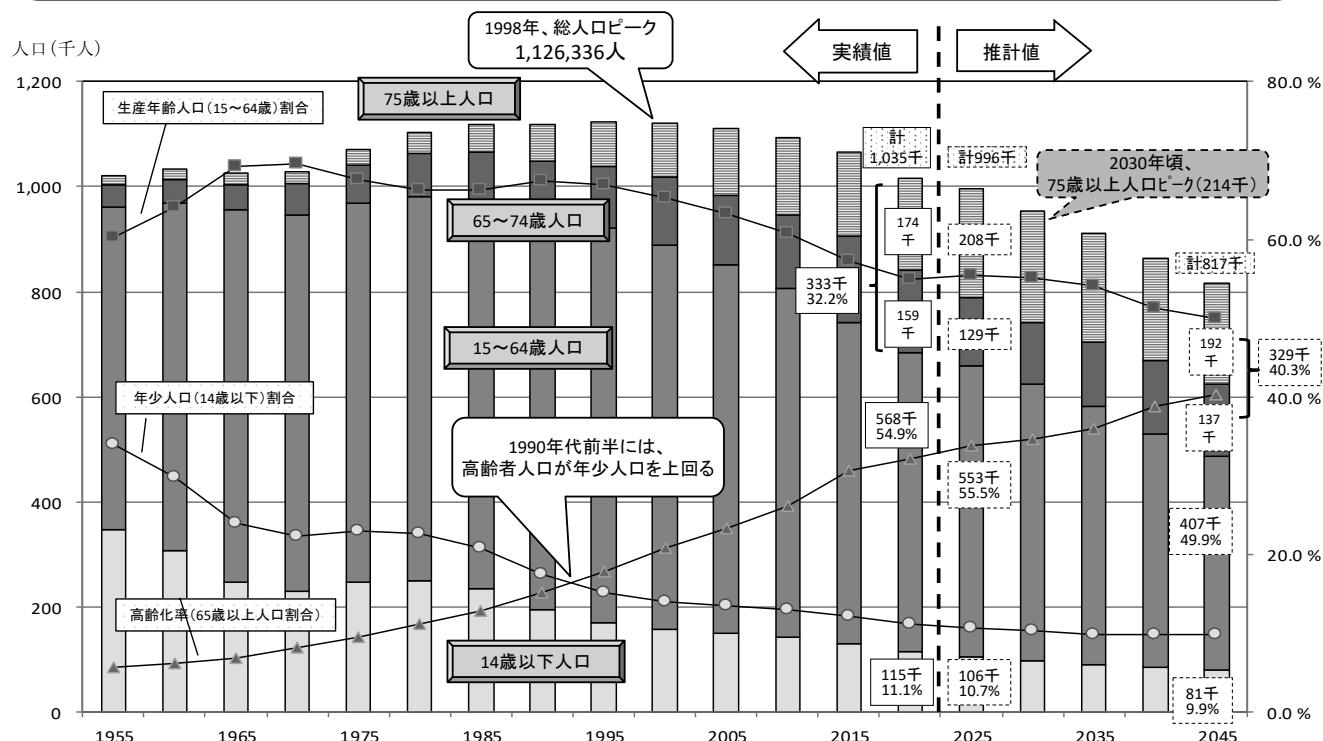
1

1 富山県の現状

2

富山県の人口推移

- 富山県の人口は平成10年にピークを迎え、減少局面に入っている。
- 医療・介護ニーズの高い75歳以上人口は令和12年頃にピークを迎える。

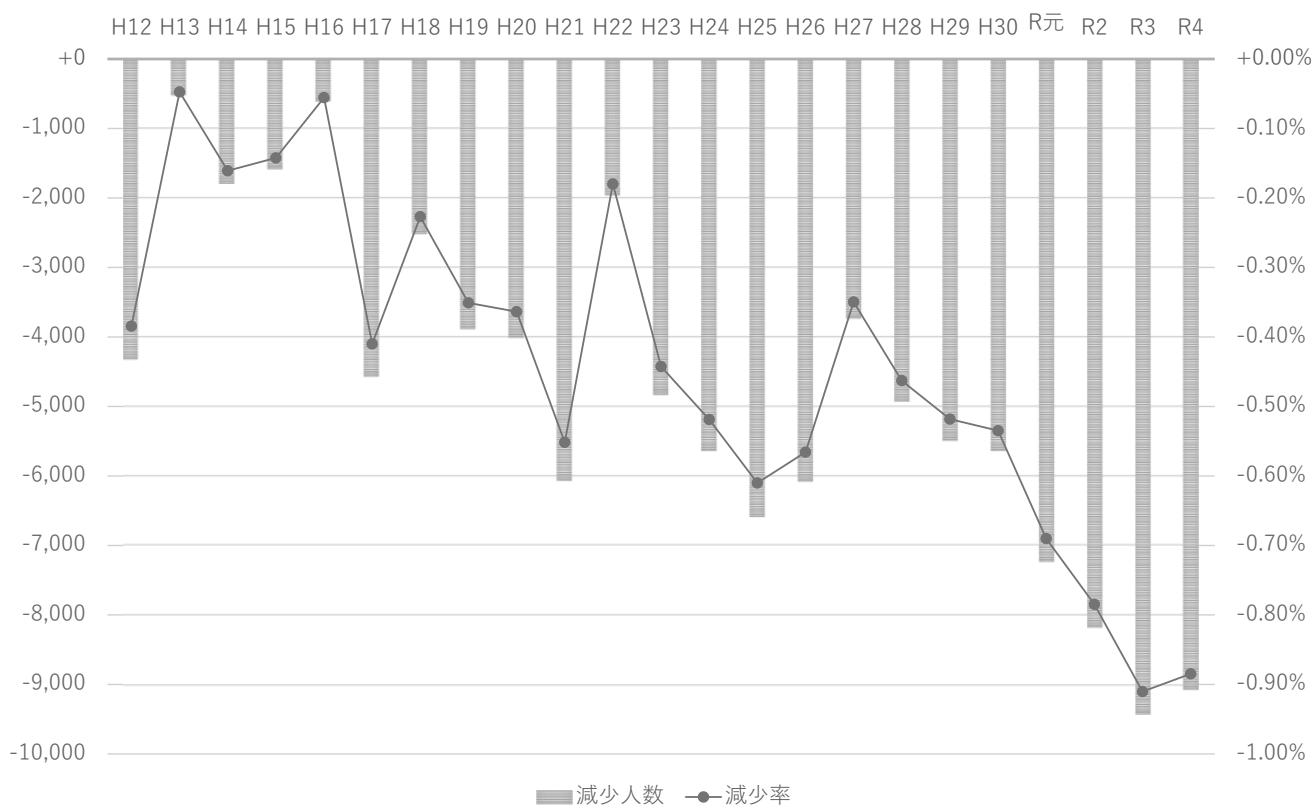


【資料】実績値：総務省統計局「国勢調査」(年齢区分別人口は年齢・国籍不詳をあん分した人口)による
推計値：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」より抜粋

3

富山県の人口の対前年度比較

- 対前年度比での人口減少率が、年々高まっている傾向にある。



各年代の人口推移

- 県民の3人に1人が65歳以上（令和4年10月1日時点では33.2%）となっている。
- 今後、高齢化率は上昇するが、高齢者人口（65歳以上人口）は減少局面に入っている。

令和元年以降で、ピークを迎える時期を [] で囲っている。

	2019 (R1)	2020 (R2)	2025 (R7)	2030 (R12)	2035 (R17)	2040 (R22)
65歳以上 人口	33万4千人 (32.3%)	34万0千人 (32.8%)	33万7千人 (33.8%)	33万1千人 (34.7%)	32万8千人 (36.0%)	33万5千人 (38.8%)
75歳以上 人口	17万5千人 (16.9%)	17万8千人 (17.2%)	20万8千人 (20.9%)	21万4千人 (22.4%)	20万5千人 (22.5%)	19万5千人 (22.6%)
85歳以上 人口	6万1千人 (5.9%)	6万4千人 (6.2%)	6万9千人 (7.0%)	7万8千人 (8.2%)	9万6千人 (10.6%)	9万5千人 (11.0%)
生産年齢 人口	58万1千人 (56.2%)	57万8千人 (55.8%)	55万3千人 (55.5%)	52万6千人 (55.1%)	49万2千人 (54.1%)	44万3千人 (51.3%)

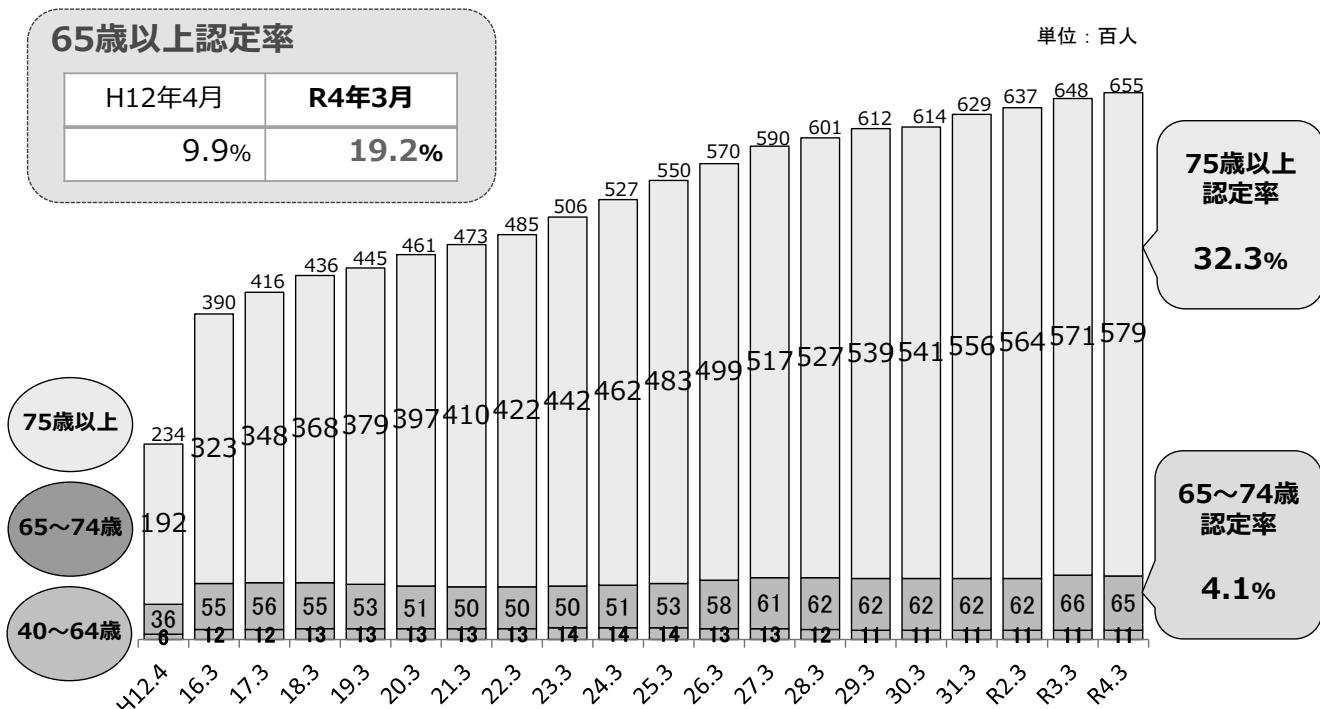
【参考】

生産年齢（15歳～64歳）人口は、平成7年（1995年）に減少局面に移行している

5

要介護認定者数の推移

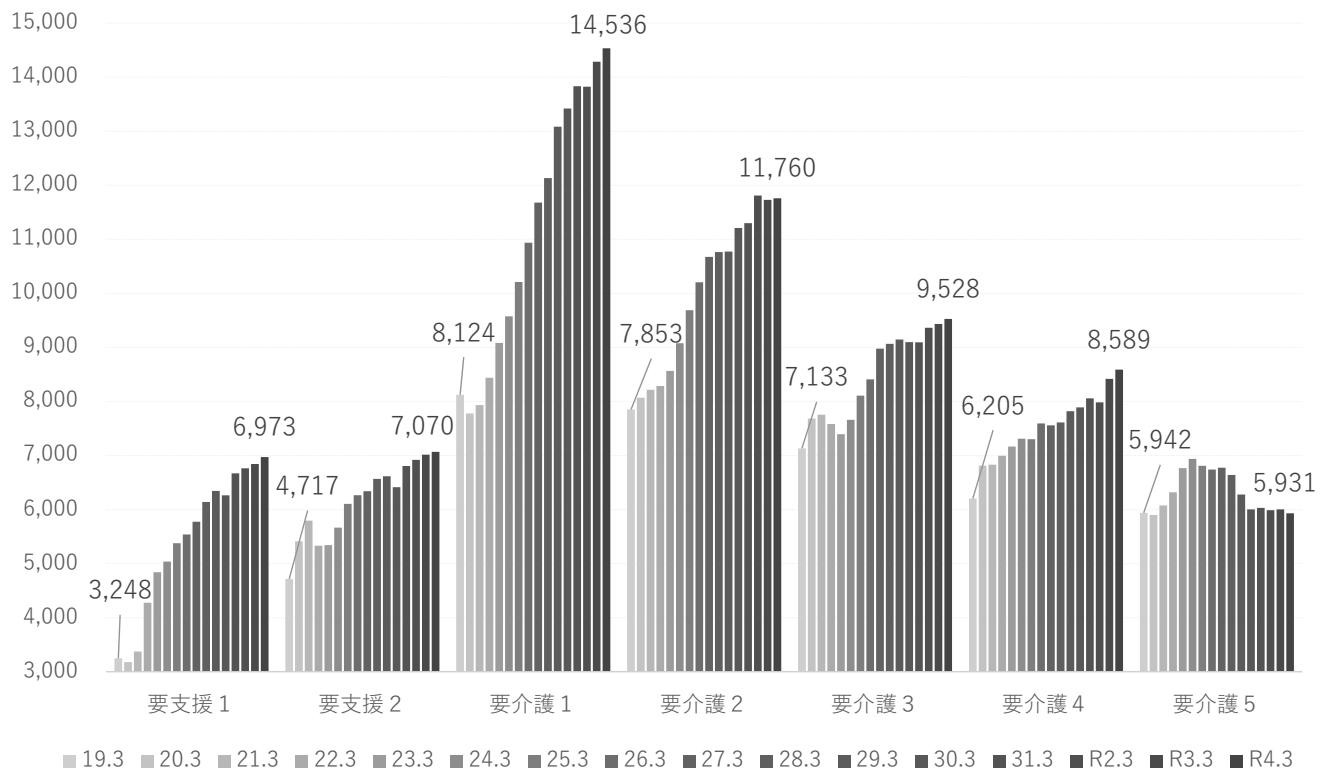
- 令和4年3月時点の要介護認定者数は65,459人。H12年比で2.8倍に増加。



6

第1号被保険者の要介護度別の認定者数の推移

○要支援者と軽度の要介護者（要介護1・2）の伸びが大きい。



2介護ロボットの導入支援

県計画における位置づけ

- 「富山県高齢者保健福祉計画・第8期富山県介護保険事業支援計画」をはじめとした各計画に介護ロボット・ICTの導入の促進・支援を掲げている。

①富山県高齢者保健福祉計画・第8期富山県介護保険事業支援計画

<具体的な施策>

- 介護事業所へのICT機器の導入促進
- 介護ロボット等の開発・導入促進



②富山県の「八つの重点政策、八十八の具体策ロードマップ」

<ロードマップ>

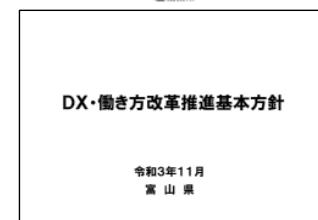
- No40 介護ロボット導入の促進
- No52 ICTの導入支援



③DX・働き方改革アクションプラン

<リーディングプロジェクト>

- No6 ロボットやICTによる介護サービスの質の向上



9

介護ロボット導入補助金

○富山県では、平成26年度に介護ロボット補助金を創設。

○介護事業所における介護ロボットの購入やリース等にかかる経費を助成している。

富山県介護ロボット導入促進事業補助金

【補助対象経費】

- (1)介護ロボットの購入、リース等に係る経費
- (2)見守り機器の導入に伴う通信環境整備に係る経費
(Wi-Fi整備費、インカム導入経費又は情報転携のネットワーク構築経費)

【補助率】

- ・原則として、1/2
- ・見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器
介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している場合 3/4

▲富山県

介護ロボットの導入を検討しておられる事業者の皆様へ		
富山県介護ロボット導入促進事業のご案内		
<p>富山県では、介護ロボットの導入により、介護従事者の業務負担の軽減及び業務効率化に取り組む介護サービス事業者を支援することを目的として、県内の介護サービス事業者が介護ロボットを導入する際の軽負担一部補助を行います。 この機会にぜひ活用ください！</p>		
1. 事業の概要		
補助対象機器	対象機器	富山県内において介護保険サービスを提供する指定事業者又は施設開設者※ 施設改修箇面Ⅰ～Ⅴのいずれかを取得していること
	①事業開始	日常生活における、
対象経費	②移動支援	③排泄支援
	④見守り・コミュニケーション	⑤入浴支援
補助率	⑥介護職員支援	⑦介護職員の場面において使用され、介護従事者の負担軽減効果のある機器
	（1）介護ロボットの購入、リース等に係る経費（導入費、初期設置費用等を含む） （2）見守り機器の導入に伴う通信環境整備に係る経費（Wi-Fi整備費、インカム導入経費又は情報転携のネットワーク構築整備費）	（1）介護ロボットの購入、リース等に係る経費 ・移動支援又は入浴支援 → 1機器につき 100万円 ・上記以外 → 1機器につき 30万円
3/4	（2）見守り機器の導入に伴う通信環境整備に係る経費 → 1事業所につき 100万円	
1/2	（1）介護ロボットの購入、リース等に係る経費 ・移動支援又は入浴支援 → 1機器につき 100万円 ・上記以外 → 1機器につき 30万円	
※1 法人あたりの補助総額上限：200万円		
・申請状況により、台数等を調整させていただく場合があります。 ・導入後の状況等に関する調査・検査等にご協力いただく場合があります。		

10

導入されている介護ロボットの種類

- 令和4年度は、49事業所に対して介護ロボット補助金を交付。
- 近年の傾向として「見守り支援」ロボットの導入や、通信環境の整備を進めている事業所が多い。

【導入されている介護ロボットの種類（R4）】

①移乗介助	11事業所	(R3: 9事業所)
②移動支援	なし	(R3: 10事業所)
③排泄支援	なし	(R3: なし)
④見守り・コミュニケーション	32事業所	(R3: 47事業所)
⑤入浴支援	1事業所	(R3: 2事業所)
⑥通信環境の整備	14事業所	(R3: 10事業所)

※同時に複数の種類のロボットを導入している事業所もあるため、事業所の合計数は49事業所を上回っている

11

導入を進めている介護サービス事業所

- 介護サービス別で見ると、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）や認知症対応型共同生活介護（グループホーム）への補助実績が多い。

【介護サービス別の補助金交付事業所（R4）】

介護老人福祉施設	29事業所	(R3: 21事業所)
介護老人保健施設	5事業所	(R3: 6事業所)
介護医療院	2事業所	(R3: 1事業所)
訪問介護	1事業所	(R3: 1事業所)
通所介護	なし	(R3: 3事業所)
通所リハビリテーション	1事業所	(R3: なし)
短期入所生活介護	4事業所	(R3: 4事業所)
特定施設入居者生活介護	なし	(R3: 1事業所)
地域密着型介護老人福祉施設	なし	(R3: 3事業所)
地域密着型通所介護	なし	(R3: 1事業所)
小規模多機能型居宅介護	1事業所	(R3: なし)
認知症対応型共同生活介護	6事業所	(R3: 13事業所)
合計	49事業所	(R3: 54事業所)

12

これまでの導入支援実績

○令和4年度までに、累計で193事業所に対して介護ロボット補助金を交付。

	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
事業所数	8	4	2	2	2	20	52	54	49
累計	8	12	14	16	18	38	90	144	193

【参考】第8期介護保険事業支援計画に記載している評価指標（KPI）

	R元	R5	R7
介護ロボットの導入支援件数（累計）	38	100	130

計画では、令和7年度までに130事業所への支援を目標としていたが、令和3年度時点で、令和7年度の目標件数を上回るペースで支援を実施。

13

3 介護ロボット導入の普及啓発

14

県広報誌を活用した普及・啓発

○介護現場で進められているDX、最新テクノロジーの活用状況、介護ロボット補助金の募集案内など、県の広報誌を活用して周知。

【参考】県広報とやま2022年6月号の表紙と介護見場の特集記事を抜粋

みんなで、ワクワクするあしたへ。
県広報とやま

高品質な介護サービス、介護業務の改善を目指して

6
2022 JUNE
NATIONAL CARE MONTH

みんなで、ワクワクするあしたへ。
みんなが感じる、生きるうれしさ、働くよろこび。

介護の仕事に、誇りとやりがいを。

信頼×科学的で介護の高質化へ。

高品質な介護サービス、介護業務の改善を目指して

高品質な介護サービス、介護業務の改善を目指して

1 介護現場における課題

2 介護ロボットとは？

3 ICTによる効果は？

4 介護ロボット・ICTの導入支援

新聞折り込み(朝刊)により各家庭へ直接お届けしているほか、ショッピングセンター、コンビニ、図書館、駅構内などでも配布

15

介護事業所の表彰 (H28~)

○要介護者の自立支援や生活の質の向上、事業所の雇用環境の改善に積極的に取り組んでいる県内の介護事業所を表彰。

自立支援部門

介護保険法に基づく指定・許可を受けた県内の介護サービス事業所で、かつ開設から2年以上経過している以下の事業所

○利用者により豊かな生活の実現を目指して自立支援・生活の質の向上、介護サービスの質の向上に向けて、優れた取組みを進めている

雇用環境部門

県内で高齢者福祉サービス又は障害(児)者福祉サービスを提供しており、かつ開設から5年以上経過している以下の要件を全て満たす法人・事業所

がんばる介護事業所
を募集します！

高齢者では、介護事業者の自立支援や生活の質の向上、雇用環境の改善に積極的に取り組む介護事業所を表彰します。

あなたもお問い合わせください！

1 募集の対象

2 応募方法

3 表彰式

○労働基準法等、法令に沿った就業規則を整備していること
○労働基準法など労働関係法令、その他法令について過去3年間違反がないこと
○処遇改善加算の届出を行っていること

16

自立支援部門の歴代受賞事業所

【参考】自立支援部門は、事業所単位で表彰



雇用環境部門の歴代受賞事業所

【参考】雇用環境部門は、法人単位 or 事業所単位で表彰



歴代の受賞事業所の取組み

○歴代の受賞事業所の主な取組みは、以下のとおり。

【自立支援部門】

- 多職種連携、身体ケアの充実による安楽な看取り介護の提供
- 居室環境の整備による入居者の転倒・転落事故の削減
- ICTの活用によるリモートワーク環境の整備
- 介護ロボットの導入による職員の負担軽減
- 利用者に応じた独自の嚥下食の作成等によるケアの質の向上
- オンラインコンサートを活用した機能訓練の実施
- 地元のスポーツチームとのコラボによる生活の質の向上に向けた取組み
- 医療職、地域住民等と連携・協力した、地域・多職種連携チームとしての生活支援



【参考】令和4年度の表彰式

【雇用環境部門】

- 介護助手の雇用による介護現場の人材確保
- パート職員の正職員雇用、職員の悩み相談窓口の設置
- マネジメント研修の開催による職員の人才培养能力の向上
- ケアアシstantの活用による介護職員の負担軽減
- 女性の積極的雇用、企業主導型保育園の活用による育児支援
- ICTの活用による記録業務の削減、時間外勤務の減少

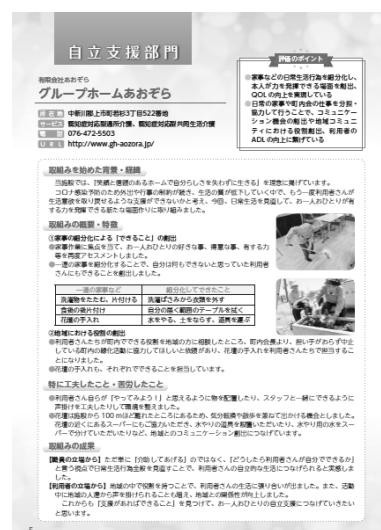
19

好事例の波及（横展開）

○例年、受賞事業所の取組みを紹介したパンフレットを作成し、介護事業所などへ配布して、好事例の波及（横展開）を図っている。



【参考】令和4年度のパンフレットの表紙と受賞事業所の取組みを一部抜粋



⇒パンフレットは、介護事業所のほか、福祉系学科のある大学や専門学校、県内の高校にも配布して、若年層へ介護現場の魅力PRを図っている。

20

先進事業所の見学会

- 介護ロボット・ICTを導入して先進的な取組みを進めている事業所の見学会を開催し、介護ロボットの導入を検討している事業所を支援。

【見学会の概要】

- ①介護ロボット等の導入経緯などの説明
 - ・導入当時の現状分析、目標の設定、運用状況の確認と効果など
- ②現場の見学・体験
 - ・介護ロボット等の使用場面の見学・体験
- ③質疑応答・意見交換

【日時・場所】

令和4年8月26日（金） 13：30～15：00
社会福祉法人宣長康久会 特別養護老人ホームささづ苑かすが

令和4年8月31日（水） 13：30～15：00
社会福祉法人喜寿会 特別養護老人ホーム七美ことぶき苑

21

参加者の声と先進事業所の特徴

- 見学会の参加者からは、以下のような感想・意見があった。

【主な感想・意見】

- 腰痛予防の基本的考え方や福祉用具の使用方法等を熟知し、当たり前のこととして実践されており素晴らしい。
特に介助において、とても重要な身体の構え方や適切な動作方法が勉強になった。
- 現場からの意見を取り入れて、働きやすい職場となり、結果、新入職員の計画的採用に繋がっている。
- ソフトウェアと並び、介護技術やそれを補助するテクノロジーの重要性を理解できた。

⇒先進事業所では、

- ①介護現場における課題の把握・分析
- ②テクノロジーの利用に対する職員の意識改革
- ③介助に関する知識・技術の習得、がっかり行われたうえで介護ロボットの導入・活用が進められている。

22

とやま介護テクノロジー普及・推進センター

○今年4月、富山県総合福祉会館（サンシップとやま）内に介護ロボットやICT等に関する研修・相談対応を行う「とやま介護テクノロジー普及・推進センター」を開設。



【参考】とやま介護テクノロジー普及・推進センターのHP画面より抜粋



- ①介護ロボット・福祉用具の展示、②介護ロボット・福祉用具の試用貸出
- ③介護ロボット体験講座・介護ロボット導入研修などの開催、④介護ロボットなどの導入・活用事例の紹介
- ⑤介護ロボット等の導入・活用に関する相談対応、などを行っている

23

今後に向けて

①介護ロボット導入補助金による導入支援

介護従事者の業務負担の軽減、業務効率化に取り組む介護サービス事業所における介護ロボット等の導入コストに対する助成を行う

②先進事業所の見学会の開催

介護ロボット等を活用して、先進的な取組みを進めている事業所の取組みを実際に見学してもらい、介護ロボット等を導入する際の参考にしてもらう

③先進事業所の好事例の伝播

介護ロボット等の導入をはじめ、生産性の向上に積極的に取り組んでいる事業所を表彰し、その取組み内容のPRを行い、他の事業所へ好事例の伝播を図る

④とやま介護テクノロジー普及・推進センターと連携した介護ロボットの普及促進

24